

最近の活動状況

この時期は、研究会の最大行事「第1回定例会」後ということもあり、特段大きな行事報告はできませんが、その後の活動状況と「第2回定例会(予定)」について報告します。

1. 研究会の活動

① 2003年10月1日

函館市で開催された「第23回地域産学官と技術士との合同セミナー」(主催：日本技術士会、協賛：北海道技術士センター・道南技術士協議会)の実行委員会に出席した。このセミナーは「水産業を軸とした産学官の連携による地域の活性化」と題して2004年1月23日に函館市で開催され、水産業の振興と地域貢献を活動の柱の一つとする当研究会にも協力要請があったものである。実行委員会には当研究会から谷野会長、桑原幹事長の二名が出席し、長野会員(公立はこだて未来大学教授/建設・水産・総合)が基調講演を行い、谷野会長が話題提供者として参加することになった。

② 2003年12月3日

第6回幹事会を開催した。出席者は谷野会長、小柳副会長、桑原幹事長、豊谷幹事、金子幹事、藤井幹事、鳴海幹事、古屋監査の計8名。主な議題は第2回定例会の開催概要の討議と、第31回技術士全国大会(北海道)へ向けての討議であった。

この幹事会は、9月に定例会を開催した都合もあり7月1日以来の開催であった。久々の顔合わせとあって、場所を変えての幹事会第2部でも熱く語り合い、最後まで話題に事欠くことがなかった。

2. 第2回定例会

第2回定例会は、特別講演と定例会を同日に行う

こととなりました。年度当初の予定では、7月上旬に第1回定例会(韓国視察)、10月に特別講演、12月に第2回定例会を開催する予定でしたが、運悪くSARSの影響で韓国視察は中止となったことが当初予定を大きく見直す引き金となりました。その結果、第1回定例会(青森視察)が9月にずれ込み、それ以降の日程が厳しくなってきたために特別講演と定例会を併せて開催することとなった次第です。(注：それだけに今回の研究会レポートのネタ探しには苦勞しました……長々と言い訳めいたことを書いて字数を稼いでいることをお許し下さい)

この号が発行される頃には開催内容が決定し、御案内済みかと思いますが、現時点での内容についてご紹介いたします。第2回定例会の開催日は、2004年3月第1週を予定しています。構成は「特別講演」と「定例会(分科会報告と青森視察報告)」の2部構成です。

特別講演の部では海域関係の話題に限らず、業種にとらわれない広い視点からテーマを選び、1時間の講演を行う予定です。

定例会の部では「原油流出対策研究分科会」、「環境に配慮した新しい沿岸防災対策研究分科会」、「日本海活性化分科会」の3分科会から、現在までの活動状況を報告します。また、9月に実施した第1回定例会(青森視察)の参加者の中から3名が視察報告を行います。

最後になりましたが、年度内には青森視察参加者によるテクニカルレポートをまとめる予定です。ご興味のある方には提供したいと考えておりますので、御一報下さい。

(文責：北方海域技術研究会幹事長 桑原 伸司)